

令和8年度 川越市立霞ヶ関小学校 学校経営方針

令和8年4月1日（水）
霞ヶ関小学校長 古屋 博

1 学校教育目標

◎みんなと協力して自分から学ぼうとする子の育成
かしこい子（知） すこやかな子（体） みりよくある子（徳）

2 本年度の学校経営ビジョン〈目指す学校像〉

人（児童、保護者・地域、教職員）を大切にし、一人一人が輝く学校

「一人一人が輝く」＝「誰一人取り残さない」

3 目指す児童像

みんなと協力して自分から学ぼうとする子

4 目指す教師像

子どもの人生のモデルとなり、子どもとともに学び続ける教師

5 目指す教育

- ① 他者と協力して自ら学び深めたいくなる教育を実現する。
- ② 多様な他者を認め合えるようになる教育を実現する。

6 本年度の重点

「ICT を効果的に活用した教育の充実」、「児童の居場所づくり」、「特別支援教育の充実」、「開かれた学校づくり」、「家庭・地域・関係諸機関・異校種との連携の深化」
「組織対応（チームカスミ）の充実」、「働き方改革の推進」

<目標を達成させるための具体的な施策>

○児童を大切にし、一人一人の児童が輝く学校づくり

(1)「ICT を効果的に活用した教育の充実」

- ①日々の授業の充実を図る。(授業改善・川越市学力向上プラン)
- ②情報活用能力を育成する。(学習用 PC の効果的な活用と実践)

(2)「児童の居場所づくり」

- ③所属感を高める学級づくりを行う。(学級活動の充実、温かい人間関係づくり、児童会活動、校内個別学習室等の充実、メンタルヘルスリテラシー研究推進)
- ④安心して安全な教育環境の整備に努める。(個人面談、教育相談日の活用、SC・SSW・さわやか相談員等の活用、黙働清掃の実施等)

(3)「特別支援教育の充実」

- ⑤ユニバーサルデザインの視点を踏まえた指導、支援を推進する。(すべての児童を大切にし、誰一人取り残さない・取り残されない教育)

○保護者・地域を大切にし、保護者・地域が輝く学校づくり

(1)「開かれた学校づくり」

- ①家庭・地域への学校教育活動の積極的な発信を図る。(学校便り、HP の充実)

(2)「家庭・地域・関係諸機関・異校種との連携」

- ②学校運営協議会の充実を図る。
(学校課題解決のための熟議、意見の反映、具体的な施策の実施)
- ③PTA 活動、おやじの会、地域人材・行事等との積極的な交流を図る。
(PTA 文化活動、一人一役等、霞地区子どもまつり、子どもサポート委員会)

○教職員を大切にし、一人一人の教職員が輝く学校づくり

(1)「組織対応(チームカスミ)の充実」

- ①チームカスミを推進し、組織での対応を大切にしながら、同一歩調で取り組む。
- ②情報の共有化・対応の組織化の徹底(報告・連絡・相談による指導の一本化)と、全教職員の学校運営参画意識の高揚を図る。

(2)「働き方改革の推進」

- ③教職員の負担軽減と ICT 活用による業務削減を検討し、時間外在校等時間の縮減、業務削減を図る。(教材の電子化、校務支援システム運用)

<未来を育てる霞ヶ関小の教職員として>

<教師は高度専門職であることを意識する>

- わかる、できる授業で信頼を得る。
- 子どもに選択肢がある授業で、子どもの心に火を灯し、やる気にさせる。
- 児童をよく理解し、温かく納得させる指導をする。
- 子どもたち一人一人を大切にし、所属感・満足感を与える学級経営・教室経営をする。

<ワークライフバランスを大切に>

- 教師自身が、豊かで明るい人生を歩んでいる姿を見せる。
- 心と体の健康を大切にし、笑顔で子どもたちの前に立つ。
- 無理なく、持続可能で着実な取組をする。
- 仕事にメリハリをつける。

<熱意、誠意、創意と愛情を持つ>

- 使命と誇りを持ち、子どもとともに学び続ける。
- 情熱と深い愛情を持ち、子どもに向き合い寄り添う。
- チームとして相手を尊重しながら互いに高め合う。
- 高い倫理観を持ち、正しい判断・行動する。